



横浜市立一本松小学校

5月号

学校だより

横浜市立一本松小学校

校長 高桑 透

令和5年4月28日

みんなで守る安全・安心

校長 高桑 透

時々肌寒い朝もありますが、とても過ごしやすい日々となりました。新しい年度がスタートして最初は緊張気味だった子どもたちも、新しいクラスにも慣れ、穏やかな表情に変わってきたようです。先日行われた授業参観でも、新しい学年になり張り切って勉強している子どもたちの様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。また、これから行われる1年生の授業参観でも、きっと同じような姿をご覧いただけたと思います。明日から始まるゴールデンウィーク、1か月新しい環境でがんばってきた子どもたち、そして私たち大人もひと休みですね。がんばってきた自分たちのことを褒めて、認めて、次に進むためのエネルギーにしていきましょう。

先日、第四地区防犯部長連絡会に参加しました。毎月1度の定例会で、地区の防犯や安全について話し合われます。各地区に皆さん、小中学校、警察署など、まちの安全にかかわる方が集まる大切な会です。学校としては、子どもたちの様子をお伝えしたり、地域での様子を教えていただいたりすることで、日々の学校での指導に役立たせていただいています。今年から下校時刻が早くなり、地域で過ごす時間も増えます。放課後の時間を安全に過ごせるように、地域の皆さんと一緒に子どもたちの安全・安心を守っていきたくです。引き続きよろしくお願ひします。

また、本校では昨年夏に「児童見守り安心システム ツイタもん」を導入しています。子どもたちが登下校に使う3つの門に、防犯カメラとセンサーを取り付けました。子どもたち一人ひとりが、IC タグをランドセルにつけて校門を通過すると、時刻が自動で記録されます。記録は職員室で確認することができます。また、校門付近に設置したカメラで、通過した時刻と照合することで本人かどうかを確認することもできます。



毎朝教室では、8時25分の始業時刻に、理由なく教室にいない児童がいれば、すぐに登校確認をします。IC タグがあれば、校門を通過しているかを確かめることができます。もし、通過していなければご家庭に連絡を入れて安否確認をします。いつも通りに家を出ているのなら、途中で何かあったのかもしれない。すぐに職員が迎えいくこともできます。通過しているなら、校内を探します。具合が悪くなってトイレにいるかもしれないし、階段で転んでけがをしているかもしれない。いろいろな対応を迅速にすることができます。記録が残るので、いつもよりも遅い、あるいは早いというときにも、子どもの様子にさらに気を配ることもできます。

また、下校では、校門通過時刻を確認することができるので、家に着いていないという問い合わせがあっても、そろそろ着く頃なのか、どこかで寄り道しているのか、何か事件事故に巻き込まれているのか、いろいろなことを想定するにも役立ちます。万が一、警察に連絡を入れることになっても、正確な情報を提供することができます。

このシステムは、無料で使うことができます。本校児童全員が、ランドセルにIC タグをつけて、少しでも安全に、安心して登下校できるようになってほしいと思います。ぜひ、子どもたちの安全・安心のために、まだ利用していない方はご一考ください。